

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

これまでの歩みから現在に至るまで

2004年(平成16年)12月、市民団体「江戸城再建を目指す会」を創立しました。世論喚起の運動を進め9年を経た平成25年度から権威ある第三者機関により天守再建の事業検証を開始し、2014年には**NPO法人の法人格での天守再建は不可能に近いとの結論に達しました**。その結論を受けて、2015年、2016年の2年度に亘り、前述の認定NPO法人の通常総会並びに理事会において、皇居東御苑での事業主体として、一般財団法人を設立し公益財団法人を目指すことを決議しました。

これまでの経緯や12年の運動の集大成とし、また、特別史跡(国宝)における事業等は、より専門かつ学術的な研究が必須との認識を踏まえて、**平成2017年1月**、前述のNPO法人理事長小竹直隆を始めとするNPO法人役員等により、清々肅々として一般財団法人を設立しました。

一方、この間、世界の首都は、歴史と伝統・文化による国際間競争の激化時代を迎えていました。特に、インバウンドの急増や世界遺産ブーム、2018年文化財保護法等の改定等、また、国連は、持続可能な開発目標(SDGs)への観光と文化の貢献を強化するなど、文化観光立国を取り巻く内外の環境は、著しく変化を続けています。

以上の観点から新たな事業構想、即ち、**本丸御殿等江戸城等全体整備構想を視野に入れた初の本格的な学術・調査、研究が必須であると認識し**、2017年10月のVISIONに続き2018年7月には「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画(案)」を策定、11月には初の本格的な学術・調査研究を開始すると共に準備会議を設置しました。

理事長特別メッセージ「特別史跡・江戸城跡における歴史建造物の復元のあり方について」をご参照ください。

本丸御殿等江戸城等全体整備構想を視野に入れて、旧江戸城及びその城下町等の歴史文化遺産の文化的価値を活かした、まちづくりについて調査研究し、その成果及び今日的意義を普及・啓発・提言することにより、江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりの形成及び発展に寄与することを、目的として下記の活動を推進しております。

1. 平成16年(2004年)：市民団体「江戸城再建を目指す会」を創立(理事長 小竹直隆)

- 平成18年(2006年)：東京都の認証を得て、NPO法人「江戸城再建を目指す会」設立を登記
- 平成23年(2011年)：認定NPO法人の「認定資格」取得
- 平成25年(2013年)平成26年(2014年)：
認定NPO法人総会決議：新事業主体設立に向けた事業検証を開始(権威ある第三者機関に委託)
皇居東御苑での天守再建はNPO法人では不可能に近いと結論に達す(事業構想・事業スキームの検討)
- 平成27年(2015年)：皇居東御苑での再建事業は公益財団法人を目指すことを認定NPO法人総会決議
- 平成28年(2016年)3月：認定NPO法人総会決議
下記①②をNPO12年の集大成とし出来るだけ早い段階で一般財団法人の設立し公益法人を目指すことを決議
①5月「江戸城天守復元調査研究報告書の完成」②11月「天守再建と歴史文化ランドデザイン基本構想」策定
- 平成29年(2017年)1月：学術・調査研究の必要性及び事業と運動の共創による一体的発展を目指して
一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」を設立(代表理事 小竹直隆)
- 平成29年度(2017年)3月：下記*をNPO法人総会で決議
*一般財団法人の設立報告、*上記6の①②を事業主体である一般財団法人に「提言」
- 平成29年(2017年)10月：**本丸御殿等の江戸城等全体整備構想の策定を目指す**
天守復元は不可能に近いと認識「江戸東京歴史文化ルネッサンス ビジョン5カ年基本計画(案)」
- 平成30年(2018年)7月：学術調査・研究の成果や今日的意義を普及・啓発及び提言を行う事業
「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画(案)」策定と11月、**初の本格的な学術・調査、研究スタート**
- 平成31年(2019年)3月：**近未来の世界遺産**を目指し、SDGs持続可能な観光と文化を目指す
「歴史まちづくり法」により江戸城全体整備構想「江戸東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画(案)」を検証
- 令和元年(2019年)5月：**理事長特別メッセージを発表**(ホームページに掲載)
特別史跡・江戸城跡における天守等歴史建造物の復元のあり方について(天守復元は不可能に近い)
- 令和元年(2019年)9月：法人名称変更：「江戸東京歴史文化ルネッサンス」
- 令和元年(2019年)10月：600件の文化財等の基礎調査終了 「事業概要書」を発表
- 令和2年(2020年)3月：**調査研究委員会開催、10月：下記のシンポジウム&パネルディスカッション開催**
財団設立3周年記念 第一弾テーマ 江戸城等全体整備構想の策定並びに歴史文化まちづくり目指す・基本的な視点
** 同年12月：コロナ禍の厳しい社会経済環境の下、次の方針を決定
本丸御殿など江戸城全体整備構想の策定の方針は堅持するものの一旦、留保し、人・モノ・資金の体制が
整い次第、策定活動を開始する、一方、江戸城全体整備構想策定活動の表裏一体となる、江戸東京歴史文化
資源を活かした観光まちづくり形成に向けた、取り組みを進めて参ります。

以上